

# ヒューマン多摩

発行：多摩市公明党

Human Tama

2018 Early Summer NO.42

—KOMEITO—  
公明党



## パルテノン多摩の改修 図書館本館の整備

## 公明党の要望が随所に盛り込まれました！

＝ 現状の方向 ＝

《パルテノン多摩周辺施設整備等特別委員会で協議》

パルテノン多摩に図書館を入れ込むのは耐震上不可。  
建て直し案は、今の土木技術でも解体が難しく、時間と費用がかさむと算定。  
我々公明党も合築案は実質的に厳しいと判断しましたが、

シンプルな改修。  
子育て施設・広場をパルテノン内に設置。  
中央公園リニューアルで活性化。  
管理運営も多摩市文化振興財団だけでなく、  
民間企業との共同運営で効率化を要望。

その方向で進んでいます。



図書館に関しては、アカデミーヒルズは駅から遠く、  
かたちは市の土地と交換と言っても、10億円での土地購入と同様です。公園内であれば土地の購入は不要であり、  
また、パルテノン多摩の近くであれば管理や運営が効率的になり、  
連携した事業で活性化も図られると訴えてきました。

市側も我々の意見に譲歩し、  
公園内でパルテノン西側駐車場の隣(レンガ坂隣接)に図書館  
本館の整備を再提案。

議会では一部の議員を除き、  
その方向で決まりました。



### 《公明党・当初の要望(案)》

- ◎パルテノン多摩と図書館を合築。  
旧サンピア・プール跡地の土地と市の土地を交換し図書館整備とあるが、土地購入と同様であり、その必要はない。
- ◎構造はシンプルで低予算に抑える。
- ◎民営化も考えた管理運営。
- ◎更に施設内に子育て施設・広場の設置。



(H28・11・16に要望書を市長に提出)

## 高木厚生労働省・副大臣に 医療・介護についての 要望書を提出。

医療制度・介護制度は、人生100年時代の国民生活を支える重要な基盤です。

75歳以上人口の急増、生産年齢人口の減少など、制度を取り巻く構造的な変化に直面しています。多摩市においては国よりも急速に高齢化が進み、将来にわたる市民生活の安心を確保するためにも、こうした課題に正面から取り組む必要があります。

医療・介護サービスに関する課題や意見を要望書にまとめ提出しました。

住み慣れた地域で暮らし続けることができる多摩市へ全力で取り組んでまいります。



### ● ランドセル代 入学前に！ (就学援助費、前倒し支給)

所得が低い世帯に向けた就学援助費について、ランドセル購入など小学校入学準備のために多額のお金を用意しなくても済むよう、入学前の支給を公明党が強く訴え、適用されることになりました。

多摩市は再来年から支給となっていましたが、  
「他市では来年から支給する。  
多摩市もするべき！」と強く訴え  
来年から支給することになりました！



### ● 買い物弱者対応に全力！

一時、団地内にある多くのスーパーマーケットが撤退し周辺地域の方々から不便とのご意見がありました。  
市議会公明党として幾度と議会で買い物弱者対応を要望。  
市は対策として事業者と協定を結び移動販売を開始しました。

しかし、都営住宅の敷地内では許可が下りない状況でありました。多摩市公明党として東京都に幾度と要望。

この度、制度改正され都営愛宕団地内で移動販売が開始されました。



皆様のご意見・ご要望をお聞かせ下さい。

TEL：042-375-9479

FAX：042-375-9479

三階 みちお



多摩市議会 副議長  
生活環境常任委員

住み慣れた地域で暮らし続けることができる「地域包括ケアシステム」の構築について。

地域包括ケアシステムとは、住まい・医療・介護・生活支援・介護予防を包括的に整備するもので、行政・企業・ボランティアが地域作りをしていくことがポイントです。また更なる高齢化により医療・介護の施設対応が難しくなり、施設から在宅へケアの場を移行し充実させる必要があります。

- 問 「地域包括ケアシステム」年齢に関係なく解りやすく周知が必要では？ 答 解りやすい情報発信に努めます。
問 2025年が団塊世代の高齢化がピークになります。介護・医療施設また在宅支援の計画は？状況に応じ整備を要望します。
問 第7期福祉計画で示してありますが、状況を踏まえ8期の計画で整備を図ってまいります。
問 在宅医療・介護。自宅前での駐車スペースの問題があります。団地では有料だけでなく、無料の福祉車両スペースの対応を要望します。
問 UR・JKK・自治会・管理組合に伝え努力します。
問 介護人材の不足が心配です。シニア世代へのアプローチをすべきでは？
問 大切な人材と考えます、検討し対応します。



あらたに隆見



多摩市議会公明党幹事長  
健康福祉常任委員

効率の良い仕事は整理整頓から、倉庫計画を立てよう！

- 問 文化財の保管は、中諏訪体育館、西落合体育館、豊ヶ丘中、第3小、パルテノンと点在しているが、一元化し同一敷地内の保管方法も含め、子供たちが学べ、市民も交えた展示企画などの拠点づくりが必要ではないでしょうか？
問 北貝取小がそのような場になるように検討していきます。
問 収納技術向上のために専門家の講習を聞く等、職員のスキルアップをするべきではないでしょうか？
問 公文書はシステム管理をしているが、物理的な収納は新たな整理をするときに専門家の助言等も聞きながら進めていきたいと思っています。

多摩市の文化行政を進めるために

- 問 文化行政を進めて行く上で、条例制定が必要ではないでしょうか？
問 条例化を視野に入れた議論をはじめます。
問 文化財行政は現在、教育委員会と文化振興財団と各々学芸員を配置しているが指示系統の一本化や組織の見直しが必要ではないでしょうか？
問 法改正やパルテノンの改修で多摩市としての文化行政の新たなステージにおいて、あるべき姿について今までの評価を含め検討していきます。



(旧中諏訪小の体育館)

池田 けい子



総務常任委員長  
多摩市議会公明党副幹事長

シックスクール・香害問題

- 問 学校・保育・子育て等施設において、教材・文具・床ワックス・洗剤などの化学物質に対する共通認識を持ち、健康被害を未然に防止することが重要です。安心安全な環境づくりが大切なことから、日常におけるスクール対策について伺います。
問 成分表示を確認し、できる限り健康に影響のないものを使用します。
問 香りに苦しみ(香害)方がいること、その影響について多くの市民に香料自粛を呼びかけるとともに、周知啓発をすべきです。
問 国・都・関係機関からの最新の知見等の動向を踏まえ、情報提供、普及啓発の方法を検討します。

重い通学カバン問題

- 問 ランドセル・通学カバンの荷物が非常に重くなっています。手提げ等で両手がふさがれて登下校している現状。腰痛などの健康面、防犯上の安全の観点からの心配の声がある中、荷物を少なくする検討をするべきです。
問 小中学生の年齢・体重に適した荷物の量にすることが必要と考えます。
問 校長会等を通して、配慮することの指導を継続していきます。



渡辺 しんじ



子ども教育常任委員  
多摩市青少年問題協議会

代表質問・シティセールス推進元年、さらなる発信力の強化を！

- 問 図書館本館の再整備は公園の池や樹木などの資源を活かすよう検討をして頂き、パルテノン多摩の大規模改修では公園、図書館からの玄関口となる4階部分のにぎわい創出の仕掛けづくりを期待します。中央公園のリニューアルも積極的に取組み、オンリーワンの拠点を目指して頂きたいと思います。
問 それぞれの基本計画策定に向けて検討を進め、全国的にみても他には例のないオンリーワンの地の地域創造拠点となるよう、多摩センター地区の魅力を高め、にぎわいに繋がるように進めていきます。
問 シティセールス戦略は職員の意識向上が重要。それには執行部が常に意識をもって、職員に啓発をして頂き、さらなる発信力の強化を要望します。
問 研修などを実施して職員のシティセールスパースンとしての意識の浸透を図ります。
問 発信力に関しては事業を洗い出し、多摩市のイメージ、認知度の向上に繋げていきたいと思います。
問 弱者に向き合う市長の姿勢を伺います。私たち公明党の議員は様々な面で困っている市民に対し、一貫して現場に赴き相談を受け、市に訴えています。これから市長も現場の声を聴いて対応して頂きたいと思います。
市長 現場に入り様々な事例をみて対応していき、解決できないものは道筋をさがしていきます。



本間 としえ



総務常任委員  
議会運営委員

登下校等子どもの安全、犯罪から守る手だて幾重にも。

- 問 自治会・商店会等による防犯カメラの設置費を、東京都の補助金を使い、防犯カメラの設置拡大を要望します。
問 防犯カメラが必要であると自治会などと合意が取れた場合、次年度に予算化します。
問 事件が起きそうな場所(入りやすく、見えにくい場所)を重点的に見回る「ホットスポット・パトロール」の手法を多摩市にも広げては如何でしょうか。
問 多摩・稲城防犯協会と連携し、ホットスポット・パトロールという考え方を啓発します。
問 不審者出没や犯罪発生等に関する情報メールを、多くの人が集まる総合防災訓練時などで、登録する機会を作っては如何でしょうか。
問 携帯等持参して頂き、その場で登録する機会を検討します。
問 「わんわんパトロール」用品確保と、市民に協力して頂き、ランニングをしながらの「パトラン」など、見守りの輪を広げては如何でしょうか。
問 パトロール用品は各地域で要望があれば相談しながら進め、様々なパトロールの手法を市民に紹介していきたいと思います。

